

## 少人数学級の拡充を求める意見書（案）

大阪府は今年度までの4年間で、府内公立小中学校1・2年生の35人学級を完結した。こえは、少人数学級の実現で豊かでゆきとどいた教育をと願う、子ども・父母・府民・教職員をはじめ教育関係者の願いに積極的にこたえたものである。

05年文部科学省調査でも、また府教育委員会による調査研究の結果でも、少人数学級による学力向上や学校生活改善の効果は明らかである。大阪府には当面、35人学級を小学校3年生と中学校1年生に拡大することが求められているところである。

しかしながら、大阪府08年度予算を暫定予算として編成したため、現行の1・2年生についてさえ、7月までしか財政措置がされていない。これは、教育の継続性・発展性から見てもゆゆしき事態である。

よって、大阪府は、少人数学級の拡充を計画的にすすめるとともに、ただちに小学校1・2年生の35人学級実施にかかわる通年の財政措置を行うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

（日本共産党提出）